

現代日本論概論

現代日本における家族

田中重人 (東北大学文学部准教授)

1 概要

- ◆ 授業の目的と概要: 「家族」をめぐる問題は、さまざまな学問領域で研究対象となっています。この授業では、社会学を中心に、法学・経済学・人口学などにおける家族研究の成果を概観したうえで、現代日本社会における家族問題について考えます。トピックとしては、親族関係の分析、家族の形態と制度、結婚と離婚、出生と育児、ライフコースからみた家族、人口変動と家族などをとりあげます。
- ◆ 学習の到達目標: (1) 家族研究の基礎的な概念と理論を理解する; (2) 実証的データに基づいて現代日本における家族の現状を把握する
- ◆ 授業の内容・方法: 授業においては、およそ2回に1回の割合で、トピックに関連したテーマを設定して、授業時間内に作文を完成させる課題を課します。また法律や統計などの資料を探索・解釈する宿題を課したり、各自の役割分担にしたがって調べたことを互いに教えあう活動をすることもあります。
- ◇ 教科書: 神原文子 (ほか編)(2016) 『よくわかる現代家族』 (第2版) ミネルヴァ書房。
- ◇ 成績評価の方法: 授業中の課題と宿題 (65%)、期末レポート (35%) を合計して評価する。
- ◇ その他: 授業中の課題遂行のため、携帯用通信機器や電子辞書の持ち込みを推奨する。

2 授業予定

- (1) イン트로ダクション [4/10]
- (2) 親族と家族 [4/17]
- (3) 家族の法 [4/24-5/8]
- (4) 法律情報の調べかた [5/15]
- (5) 人口と家族 [5/22-6/5] (+進捗確認)
- (6) 家族変動 [6/12-26] (+レポート内容について相談)
- (7) 家族の経済学 [7/3-10]
- (8) 授業全体のまとめとレポート提出 [7/24]
- (9) レポート返却 [7月末]

※ [] 内の日付は、おおよその計画をあらわしているが、実際の授業の進行状況によって前後にずれることがある。

- 授業中に4回程度、授業時間内に作文を完成させる課題 (次の週に返却します。7/24にまとめて再提出)
- 法律・判例等について調べる宿題と授業中の討論 (4/24, 5/1)
- 統計資料について調べる宿題 (6/5?)
- 6/5 授業時に進捗確認の課題 (20点相当)
- 期末レポート「2018年の報道から家族に関連する記事を1つ選び、この授業の内容と関連付けて説明する」(2000字以上、35点相当) …5月末に計画提出、6月末に内容について相談。7月24日にレポート提出。7月末までに採点して返却。8月14日までに再提出すれば、5点以内の範囲で加点する。

現代日本論概論「現代日本における家族」 (田中重人)

受講登録フォーム

氏名 (よみ):

学年:

学籍番号:

所属 (文学部日本語教育学専修以外の場合):

興味のあること (非学術的な内容でも可):

授業でとりあげるテーマについての希望 (もしあれば)、その他の連絡事項

以下は採点用

宿題													
課題													
参加													

--	--

予備知識の調査（成績評価には関係ありません）

(1) 「核家族」(nuclear family)とは何か。簡単に説明せよ。

(2) 「M字型曲線」(M-shaped curve)とは何か。簡単に説明せよ。

(3) つぎの文章の（ ）内にあてはまる数字を入れよ。

民法第731条によれば、女性は（ ）歳、男性は（ ）歳にならないと結婚できない。また、（ ）歳になるまでの間は、父母の同意がなければ結婚できない。

労働基準法第56条によれば、（ ）歳未満の児童を雇用することは原則としてできない。

きょうだいは（ ）親等の関係にある。

(4) 「高齢化社会」(aging society)とは何か。簡単に説明せよ。

予備知識の調査：解答例

(1) 「核家族」(nuclear family) とは何か。簡単に説明せよ。

夫婦と未婚の子供のセットのこと。

(2) 「M字型曲線」(M-shaped curve) とは何か。簡単に説明せよ。

女性の年齢階級別の労働力率（または就業率）のグラフを描くと、両側にふたつの山があってその間が落ち込んだ形になる。この形がアルファベットの「M」に似ているため、「M字型曲線」と呼ばれる。

(3) つぎの文章の（ ）内にあてはまる数字を入れよ。

民法第 731 条によれば、女性は（ 16 ）歳、男性は（ 18 ）歳にならないと結婚できない。また、（ 20 ）歳になるまでの間は、父母の同意がなければ結婚できない。

労働基準法第 56 条によれば、（ 15 ）歳未満の児童を雇用することは原則としてできない。

きょうだいは（ 2 ）親等の関係にある。

(4) 「高齢化社会」とは何か。簡単に説明せよ。

人口の中の高齢者の割合が増加して一定以上の比率を占めるようになった社会を「高齢化社会」という。65 歳以上の者の比率が 7%以上という基準を使うことが多い。

第1講 イン트로ダクション

田中重人 (東北大学文学部准教授)

1 受講登録フォーム記入と予備知識の調査

2 親族関係用語について

「親族」(kinship) とは …… 親子関係と夫婦関係でたどれる間柄の人々のこと

- 孫 = 子供の子供
 - 祖父母 = 親の親
 - 兄弟姉妹 = 親の子
 - 姑・舅 = 配偶者の親
 - 甥・姪 =
 - 義理の兄弟姉妹 =
- (1) 親子関係だけでたどれる範囲の人々を「血族」(consanguinity)、夫婦関係をたどらないとたどりつけない人々を「姻族」(affinity) という。
 - (2) 親族のうち、世代的に上の者を「尊属」(ascendant)、下の者を「卑属」(descendant) という。
 - (3) 世代を上または下に一方的に進んでたどり着ける場合を「直系」(lineal)、折り返さないとたどりつけない場合を「傍系」(collateral) という。
 - (4) 親族関係の近さをあらわすのに「親等」(degree) を用いる。これは、親子関係を何回経由するとその人にたどり着けるか、その回数を数えるものである (ローマ法方式)。

【問題】 上にあげた「孫」から「義理の兄弟姉妹」までについて、上記の (1)~(4) にしたがって分類してみよう。

3 家系図 (family tree) による表現

- 女性が○、男性が△
- 尊属が上、卑属が下
- 夫婦関係は横の二重線 (=)
- 親子関係は縦の単線 (|)、ただし子供が複数のときは枝分かれした櫛型の線にする

【問題】 つぎの範囲の親族について、家系図を描いてみよう：自分、父、母、妹、姉、姉の夫、姉夫婦の息子